



高三小だより臨時号③

やりぬく子

進んで学習しよく考える子
仲よく力を合わせる子
健康でたくましい子
令和5年3月6日（月）
船橋市立高根台第三小学校

URL <http://www.city.funabashi.lg.jp/gakkou/0001/takasan-e/index.html>

E-mail: takasan-e@ks.funabashi.ed.jp 学校 HP の QR



令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について

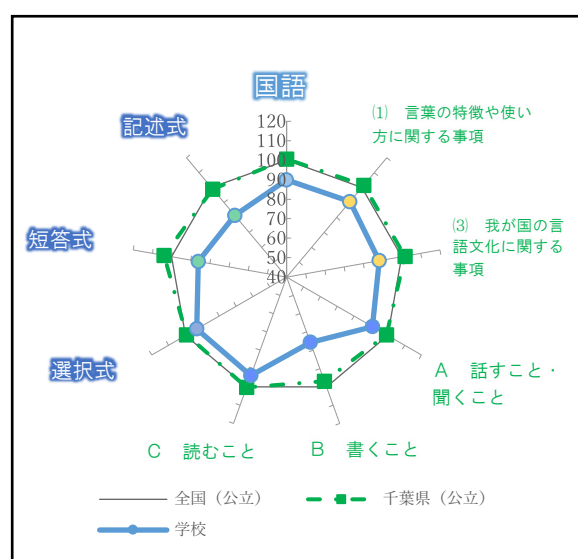
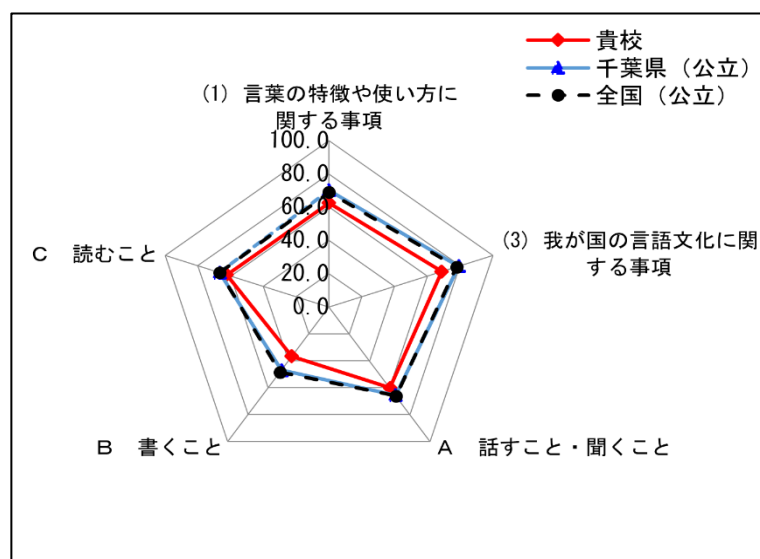
令和4年4月19日（火）に全国学力・学習状況調査が実施されました。新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は未実施、昨年度の令和3年度は1か月遅れの実施でしたが、今年度は予定どおりに実施することができました。対象学年は、小学校6年生と中学校3年生です。

教科は、例年の国語と算数に、理科を加えた3教科です。また、教科に関する調査と生活習慣や学校環境等に関する調査も行いました。全国・千葉県・船橋市の数値や状況については、船橋市のホームページで紹介されています。以下は、本校の調査結果をもとに傾向と今後の対策について考察しました。

1 教科に関すること

（1）国語

<結果> 左<学習指導要領の内容の平均正答率の状況> 右<全国（公立）の平均正答率を100とした場合の相対値>



<傾向>

国語科全体での正答率は全国平均と比べると、6.6%下回っている。内容別に見ると、「知識・技能」では「（3）我が国の言語文化に関する事項」が9.1%、「思考力・判断力・表現力等」では「B 書くこと」が11.8%下回っていることが目立つ。一方で「話すこと・聞くこと」や「読むこと」全国と比較してもそこまでは大きく差異はなかった。

課題が見られた主な設問として、本校では次のようなものがある。

○「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、□でどのように話すかを書く。

…互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめる。【話すこと・聞くこと】

○【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く。

…文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つける。【書くこと】[思・判・表]

○【文章2】の中の____部イを、漢字を使って書き直す。(はんせい)

…漢字を文の中で正しく使う。【言語の特徴や使い方に関する事項】[知識・技能]

<今後の取り組み>

・「互いの立場や意図を明確にしながらか计划的に話し合い、自分の考えをまとめる力」の育成は、国語科だけでなく、学校の日常生活全般で養っていくことが大切である。コロナ禍で個々の活動が多く、なかなか話し合い活動等が十分でなかったことも鑑みて、学習の場においても、班やグループ活動で話し合いを行う場面を多くし、計画的に取り組んでいけるようにする。

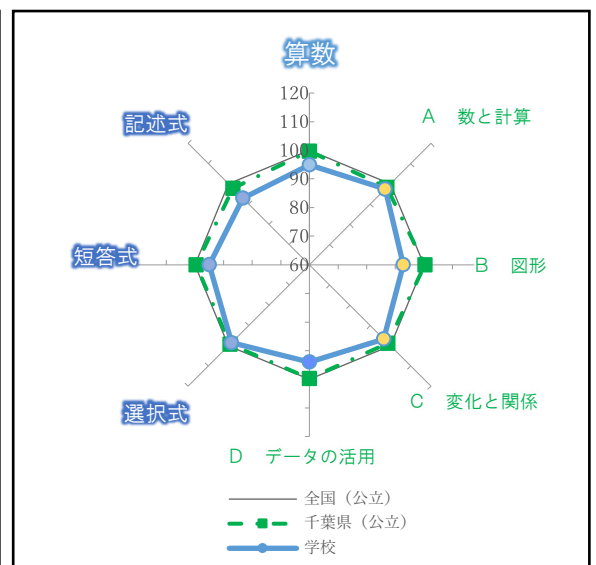
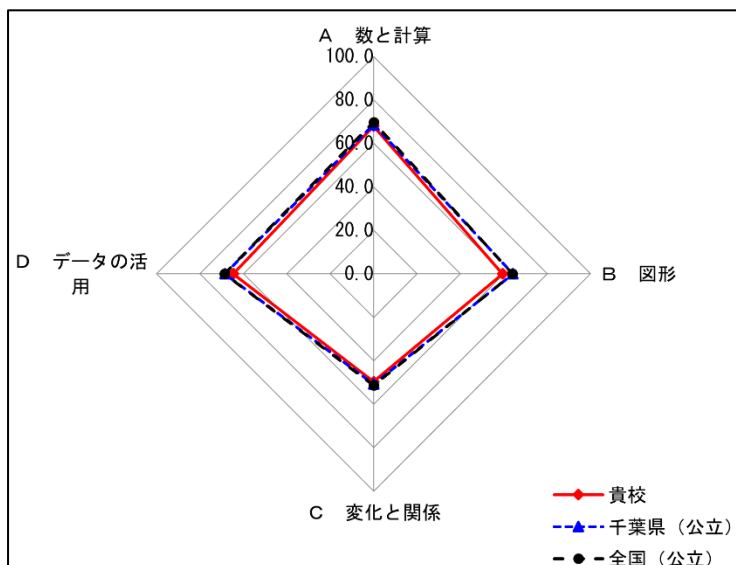
・「書く力」の育成は、毎時間において書くことの作業を繰り返す行うとともに、タブレット端末を用いてロイロノート等のアプリを活用することでも、児童にとって取り組みやすく力を付けていくことができると考える。

・「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、「朝学習」や「朝読書」による基礎・基本の学力向上の取り組みを継続して行う。また、図書館の利用や読み聞かせ等を積極的に行っていく。

・教員の国語科校内研究での「読むことを通して考えを共有し思いを表現する子の育成」に向けた取り組みが成果となっているところも見られ、引き続き言語環境を整えながら国語力向上に取り組んでいきたい。

(2) 算数

<結果> 左<学習指導要領の内容の平均正答率の状況> 右<全国(公立)の平均正答率を100とした場合の相対値>



<傾向>

算数科全体での正答率は全国平均と比べると、3.2%下回っている。領域別に見ると、「数と計算」や「変化と関係」については正答率が全国平均に近いものがあり、それほどの変異はなかった。しかし、「図形」や「データの活用」は全国の平均正答率よりそれぞれ4.6%、4.1%低い結果となった。

課題が見られた主な設問として、本校では次のようなものがある。

○ 85×21 の答えが1470より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ。

…示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる。【数と計算】[思考・判断・表現]

○果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ。

…示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している。

【変化と関係】[知識・技能]

○示されたプログラムについて、正三角形をかくことができる正しいプログラムに書き直す。

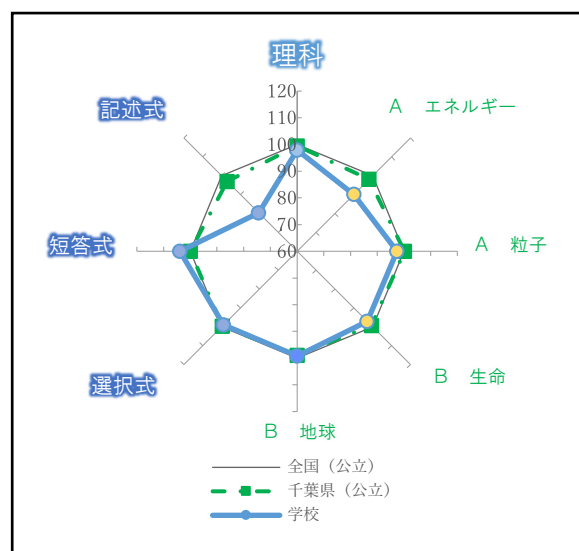
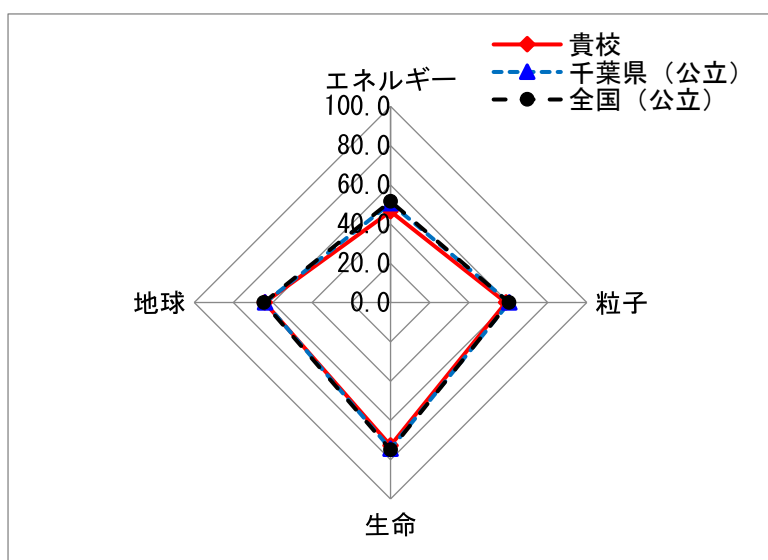
…正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる。【図形】[思考・判断・表現]

＜今後の取り組み＞

- ・「日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かすこと」が重要である。算数の学習が日常の生活と密接したものになるよう、授業を工夫し、生活に生かしていけるようなまとめや活用の練習を行っていく。
- ・「図形」の学習において、単なる図形の内容を理解するだけでなく、「図形の意味や性質を基に図形を形成する要素に着目し、図形の構成の仕方について考察できるようにすること」が求められる。具体物を実際に操作したり、視覚的な情報でより考えを深めたりできるよう、体験や活動を含めた授業を実践していく。
- ・「わかる授業」を目指して、児童の興味関心を引く単元の導入を工夫したり、ICTをさらに活用したりするなど、児童がより学習を理解できるように授業の工夫・改善を行う。

（３）理科

＜結果＞ 左＜学習指導要領の内容の平均正答率の状況＞ 右＜全国（公立）の平均正答率を100とした場合の相対値＞



＜傾向＞

理科全体での正答率は全国平均と比べると、1.3%下回っているが、相対値としてはほぼ平均並みの出来と言える。区分・領域別にみると正答率が全国と比較して、「地球」0.5%、「粒子」1.6%、「生命」2.2%、それぞれ下回る程度であるが、「物質・エネルギー」領域が5.1%下回り、目立つ結果となった。

課題が見られた主な設問として、本校では次のようなものがある。

○凍った水溶液について、試してみたいことを基に見いだされた問題を書く。

…自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる。【粒子】[思考・判断・表現]

○光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人物を選ぶ。

…日光は直進することを理解している。【エネルギー】[知識・技能]

○問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書く。

…実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる。

【エネルギー】[思考・判断・表現]

＜今後の取り組み＞

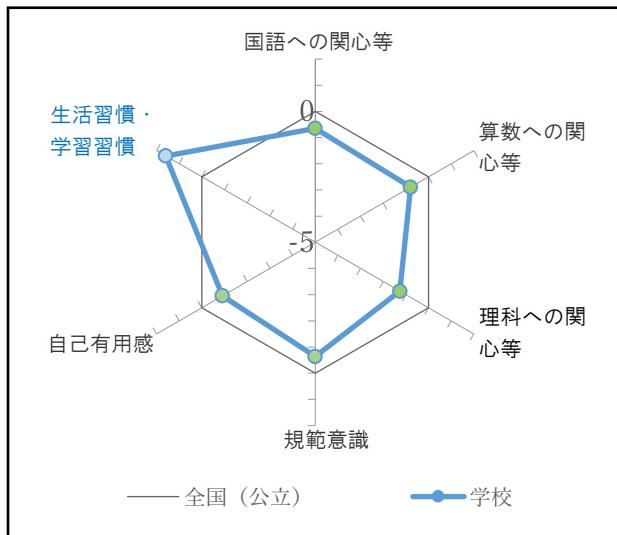
- ・理科の学習では、「自然の事物・現象や他者の気付きを基に、差異点や共通点を捉えるとともに、複数の対象から自然の事物・現象の性質や規則性などを把握しようとすることや、観察、実験などの方法を見通すことなどを意識しながら分析して、解釈すること」が重要である。そのために、児童自らの日常生活や経験からの予想や見

通し、実験・観察の方法、結果の考察など、結論に至るまでの過程を大切に授業の工夫・改善を行っていく。

- ・自然の事物・現象に十分に触れさせ、自然と関わる機会を意図的・計画的に増やしていく。学年を超えた学校全体での系統立てた計画を立てていく。体験学習や実習の機会をできる限り多くしていく。
- ・家庭や日常生活においても、自然に触れる機会や体験できる場を増やしていけるよう啓発していく。

2 生活習慣や学校環境等に関する調査

<結果>



<傾向>

◇全国に比べ該当する児童の割合が高い項目

- ・朝食を毎日食べていますか。
「毎日」本校 89.1%、全国 84.9% 【+ 4. 2 %】
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。
「毎日」本校 46.9%、全国 40.7% 【+ 6. 2 %】
- ・自分には、よいところがあると思いますか。
「ある・どちらかといえばある」本校 82.9% 【+ 3. 6 %】
- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。「できる」本校 42.2% 【+ 6. 7 %】
- ・国語の授業の内容はよく分かりますか。
「分かる・どちらかといえば」本校 87.5% 【+ 3. 5 %】

◆全国に比べ該当する児童の割合が低い項目

- ・普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(携帯式・スマホ等含む)をしますか。
「4時間以上・3時間以上」本校 37.5%、全国 30.7% 【+ 6. 8 %】
- ・将来の夢や目標を持っていますか。「はい・どちらかといえば」本校 73.5%、全国 79.8% 【- 6. 3 %】
- ・自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか。「はい・どちらかといえば」本校 79.7% 【- 7. 5 %】
- ・自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありますか。「よく・ときどき」本校 53.2% 【- 11. 9 %】
- ・今住んでいる地域の行事に参加していますか。「はい・どちらかといえば」本校 29.7%、全国 52.7% 【- 23 %】
- ・国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。
「はい・どちらかといえば」本校 87.6%、全国 91.8% 【- 4. 2 %】

<結果を受けて>

基本的な生活習慣について、「早寝・早起き・朝ごはん」の定着が家庭の協力により実施できていることが伺える。一方でテレビゲームやスマホ・SNSの視聴等の時間はかなり長く、時間を制限しての利用が望まれる結果となった。これを受けて、本校では千葉県「学校を核とした1000か所ミニ集会」において、「スマートフォン使用等の家庭におけるルールについて」と題しての講演会を行い、よりよい使用のあり方等を保護者を交えて協議した。今後も家庭や児童に呼び掛けていく。

自己有用感について、時世柄、難しかった行事や体験活動を活性化し、児童が達成感、充実感、連帯感等を味わえるよう取り組んでいく。そのような活動の中で、次第に自分の好きなことや夢を見出していければよいと考える。数値の低かった自然の中での活動や地域行事についても、計画的に取り組んでいけるよう、学校・家庭・地域が連携していく必要がある。

学習の意欲・関心等について、授業改善をすすめ、生活と結びついた学びができるように工夫していく。学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」の涵養を目指していく。